

今、予防医療の指標として注目を浴びている、LOX-indexを早々に導入され、診療実績を上げられている医療機関をご紹介します、ニュースレターです。

今回は、脳神経外科や心療内科を中心とした医療サービスを提供する、くどうちあき脳神経外科クリニックの工藤千秋先生にお話を伺いました。

①LOX-indexを導入した理由

工藤先生)

脳外科の専門医として、頸動脈エコーの結果やIMTの肥厚により、脳梗塞・心筋梗塞の発症の關係に重きをおいて診療を行っています。それに合わせ、MRA、MCFANにて検査をし、その使用実感から、血液のドロドロやベタベタが脳梗塞・心筋梗塞の発症に非常に重要なリスク因子である事は分かっておりました。しかし従来の検査指標では、今日現在の脳梗塞・心筋梗塞の発症を起こす診断指標にはなりますが、将来5年後10年後の予測は不可能でした。しかし、LOX-indexは、10年後、もしくは近い将来の発症予測を具体的に我々に教えてくれる予測の指標になります。従来の保険診療下の検査を補完する意味で、将来予測指標であるLOX-indexを使用しています。

②LOX-indexの活用方法

工藤先生)

総ての患者さんにのべつ幕なしに勧めるものではありません。私は4つの独自の指標を用いて、お勧めする方を選択しています。

- ①IMT（頸部エコー）で強く肥厚が認められる方
- ②LDL-choの値が高い方、中性脂肪TGが高い方
- ③糖尿病の方
- ④頸部MRAの結果が悪い方



工藤千秋先生

(2 ページに続く)

くどうちあき脳神経外科クリニック

TEL 03-5767-0226 <http://www.kudohchiaki.com/>

〒143-0016

東京都大田区大森北1-23-10



2001年11月より東京都大田区に開院。最新のオープン型MRI、マルチスキャン・ヘリカルCT等を完備しデジタル画像によるコンピューター診断を行っている。

院長：工藤千秋 医学博士

略歴：英国バーミンガム大学、東京労災病院脳神経外科、鹿児島市立病院脳疾患救命救急センターなどで脳神経外科を学び1989年、東京労災病院脳神経外科に勤務。同科副部長を務める。また、多数の学会に所属し、アメリカ脳神経外科学会（AANS）／アメリカ脳神経外科コンgres（CNS）／北米頭蓋底外科学会（NASBS）など多数の学会に所属している。（東邦大学客員講師、日本脳神経外科学会・評議員、日本脳神経外科学会専門医、日本認知症学会認定医等）

(1ページから続く)

③受診者の声

工藤先生)

検査報告書に、検査値を示す★印がプロットされています。ですからそれを患者さんに見せながら説明ができるのがいいですね。わかりやすいと好評です。このデータを参考に患者さんに説明しているのは、今現在の危険性ではなく、5年10年後の将来の危険性を示していますということです。患者さんはみなさん、それをきっかけにして、積極的な治療への意欲を高めてくれるわけです。

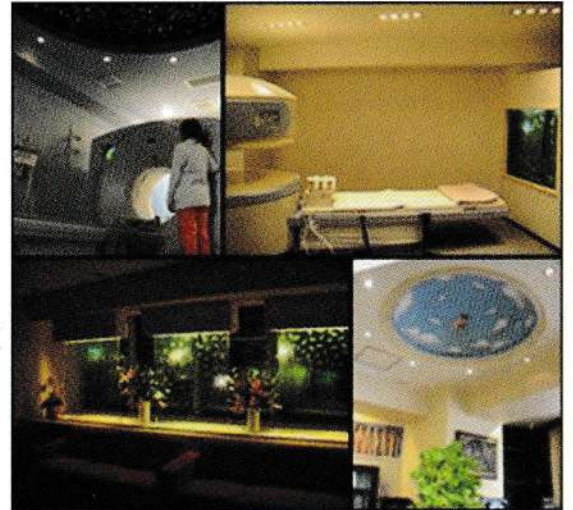
④先生のご感想

工藤先生)

これまで、一般的な検査データを元に、今現在の病気になるリスクを説明してきました。患者さんが求めているもの、そして我々医療者が求めているものは、これから5年後10年後にどうなっていくのかという点なのです。これまでにお使いになった先生方のレポートを見ますと、明らかにこれは将来に対してのevidenceが提示されているものであり、いわばEvidence-based medicineの時代に合った検査であると考えています。

患者さんと我々医療者が納得した上で治療を進められる、ひとつのいい指標のひとつだと感じています。

-ご協力ありがとうございました。(編集部)

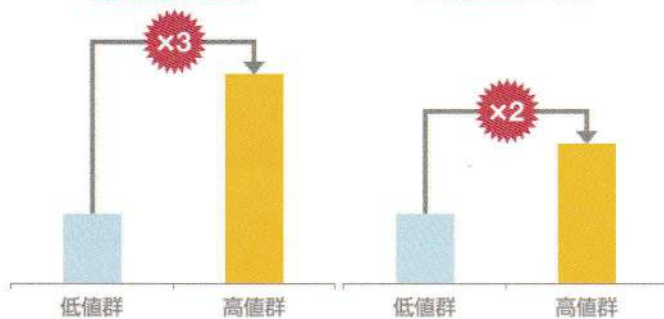


LOX-indexの特長

脳梗塞との関係

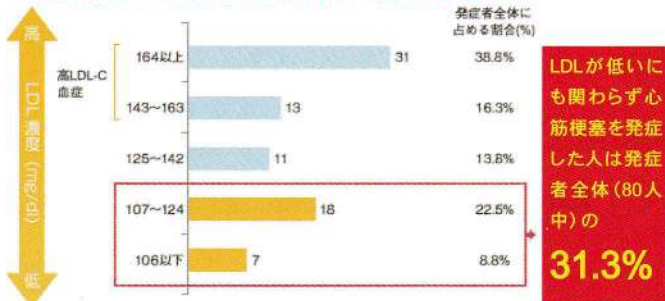
心筋梗塞との関係

脳梗塞・心血管障害の発症リスクを評価可能



「LOX-index」は、脳梗塞・心筋梗塞発症リスクを評価する最新の指標です。日本国内で行われた、約2,500名を約11年追跡した研究成果がベースになっております。この研究から、sLOX-1(可溶性LOX-1:血中に放出されたLOX-1)とLAB(LOX-1 ligand containing ApoB)から得られる解析値が、今後10年以内の脳梗塞・心筋梗塞発症率に大きく関与する事がわかりました。脳梗塞発症率で約3倍、心血管疾患発症率で約2倍となり、これら2つの疾患の発症リスク評価検査としては、唯一の検査です。

LDL値と心筋梗塞発症者数の相関性(吹田研究より)



LDLと比較した際のLOX-indexの優位性

動脈硬化のリスクマーカーとして、これまでLDLコレステロールが一般的でしたが、心疾患と相関性がある事は知られているものの、脳血管障害との相関性は得られていませんでした。また、心疾患患者の約3割はLDLコレステロールが基準値以下で発症しているとの報告もあり、リスクマーカーとしては十分とは言えません。LOX-indexはまさにその部分を補うことができます。

NKメディコ株式会社

NKmedico

〒106-0045 東京都港区麻布十番1-2-3 プラスアストルビル5F

【電話】03-3505-5119 【FAX】03-3505-5019 【E-mail】info@nk-m.co.jp <http://lox-index.com/>